

第 62 回

高知市文化祭

報告書

〔平成 22 年度〕



第 62 回高知市展オープニングセレモニー（平成 22 年 5 月 29 日 / かるぽーと）

高知市文化祭執行委員会

目 次

高知市文化祭執行委員名簿	2
高知市文化祭主催行事	3
高知市文化祭参加行事数・入場者数	6
参加行事報告	
映像部門参加行事	7
演劇部門参加行事	8
音楽部門参加行事	10
舞踊部門参加行事	14
展示部門参加行事	16
文芸部門参加行事	17
その他の参加行事	18

第62回高知市文化祭執行委員会

区 分	氏 名	備 考	
顧 問	廣 松 ひとし	人形劇団ピコロ座代表	
芸 術 文 化 部 門	映 画	坂 本 昌 隆	映像芸術研究家
	音 楽	松 村 紫 乃	高知県三曲協会副会長
		坂 本 雅 代	高知県合唱連盟事務局長
		高 橋 輝 雄	高知県民謡協会会長
		上 本 竹 永	高知県吟剣詩舞道総連盟副理事長
	舞 踊	花 柳 昌 延	高知県日本舞踊協会会長
		立 脇 千 賀 子	高知県バレエ協会会長
	演 劇	吉 本 智 賀 子	劇団ゆまにて代表
		北 村 絵 理	NPO法人高知市こども劇場副理事長
	文 芸	島 総一郎	高知ペンクラブ事務局長
	華 道	立 石 一 有	高知県華道協和会理事
	能 楽	岡 部 徳 治	高知能楽会代表理事
	市 展	濱 田 尚 川	高知市展代表委員長
	まんが	山 北 美 砂 子	高知漫画集団事務局
県立美術館	河 村 章 代	高知県立美術館主任学芸員	
文化協会	森 田 悦 男	高知市文化協会代表理事	
報 道	RKC	竹 島 章 記	高知放送報道制作部長
	NHK	山 下 茂	NHK高知放送局放送部長
	高知新聞	内 川 雅 彦	高知新聞社学芸部長
	高知新聞企業	松 浦 英 明	高知新聞企業事業企画部長
	KUTV	岡 本 康 利	テレビ高知報道・技術センター次長
	さんさんテレビ	林 寛	高知さんさんテレビ報道制作局長

委員長 花柳 昌延

副委員長 高橋 輝雄 ・ 森田 悦男

監 査 上本 竹永 ・ 北村 絵理

第62回高知市文化祭開幕行事

合唱リリック「であいの春」



日時	平成22年4月11日(日)	開場12:30~	開演13:00~
場所	高知市文化プラザかるぼーと 大ホール		
入場料	一般1,000円	高校生以下500円	
主催	高知市文化祭執行委員会・高知市文化協会・高知県合唱連盟		
主管	(財)高知市文化振興事業団・高知市教育委員会		
後援	高知新聞社・NHK高知放送局・RKC高知放送・KUTVテレビ高知・KSS高知さんさんテレビ		
出演	いの混声合唱団・高知コーラス合唱団・混声合唱団Pange・TURKEY'S CLUB・本山秀毅・高知県合唱連盟 他		
入場者	523人		総計 250人

第62回 高知市展

開催日 平成22年5月29日(土)～6月13日(日)
 会場 高知市文化プラザかるぼーと 7階市民ギャラリーほか
 入場料 前売300円 当日400円 (50円の割引ハガキを発行)
 鑑賞者 6,962名
 美術体感イベント「あなたダビンチ ぼくピカソ」
 6月6日(日)午後1時～4時
 前広場+公民館施設 (5部門5ブース+2部門2ブース)
 フリーパスポート 500円(400枚)・200円(96枚)



出品者・出品数・イベント

部 門	出品者(前回)	出品数(前回)	北見市 交流作品	美術体感イベント 参加ブース名	参加者数
絵 画	94 (94)	116 (113)	4 (4)	「エコ・アート・ マーケット」	1500
日本画	27 (34)	35 (45)	3 (3)	「エコバッグに 絵を描こう」	400
書 道	120 (142)	120 (142)	10 (10)	「筆と遊ぼう」	900
先端美術	17 (18)	18 (19)			
彫 刻	30 (26)	46 (31)		「せっこうメダル」	600
陶 芸	76 (79)	114 (114)	3 (3)	「粘土で遊ぼう」	216
工 芸	60 (39)	101 (60)			
写 真	82 (80)	137 (127)	11 (10)		
ペン字	93 (110)	93 (110)		「字は楽しく 書くのが一番」	348
デザイン	64 (47)	70 (51)		「キーホルダー作り」	680
合 計	663 (669)	850 (812)	31 (30)		4664

第62回 高知市展 関連行事

講習会

彫刻講習会	〔 全身像・抽象コース 头像コース	3月2日～3月28日	全12回
陶芸「一日作陶体験会」		3月28日～4月25日	全15回
工芸「型染めをしましょう」		4月4日	
		4月4日	



研究会

先端美術研究会「椿昇講演会」	5月30日
書道作品研究会	5月30日・6月12日
絵画作品研究会	6月13日
写真作品研究会	6月13日
日本画作品研究会	6月13日
彫刻作品研究会	6月13日
工芸作品研究会	6月13日



文化祭参加行事数・入場者数等集計表

部 門	行事数	入場者数	参加行事助成額	行事区分
映 像	6 (6)	538 (687)	130,000 (130,000)	共 催 4 後 援 1 名義後援 1
演 劇	9 (8)	6,184 (4,490)	378,400 (397,100)	共 催 5 名義共催 1 後 援 2 名義後援 1
音 楽	22 (25)	8,010 (10,714)	1,125,000 (1,088,300)	共 催 19 特別共催 1 名義共催 1 後 援 1
舞 踊	10 (8)	6,359 (5,075)	636,600 (536,600)	共 催 7 特別共催 1 名義後援 2
展 示	5 (5)	9,801 (7,313)	328,600 (322,300)	共 催 4 後 援 1
文 芸	4 (4)	809 (801)	230,000 (224,000)	共 催 2 後 援 1 委 託 1
その他	4 (4)	837 (805)	179,900 (179,800)	共 催 2 後 援 2
合 計	60 (60)	32,538 (29,885)	3,008,500 (2,878,100)	共 催 43 特別共催 2 名義共催 2 後 援 8 名義後援 4 委 託 1

()内は前回の実績数

「その他」部門への文化祭参加興行映画の入場者数は、この集計には含まれておりません。

映像部門

行事名 「下郎の首」上映会				
日・時	4月18日(日) 10:00～計6回			「下郎の首」は隣の愛媛県宇和島市出身の巨匠伊藤大輔監督の昭和30年製作の時代劇です。お客さんの中には、「こんな素晴らしい時代劇は見た事がない、これを見ればTV時代劇なんかバカらしくて見れない」と言ってくれた方もあり評判は良かったのですが、いかんせん、スターも出ていなくて、知名度もなく、入場者数が少なかったです。
会場	龍馬の生まれたまち記念館	入場者	62人	
主催	小夏の映画会 / 田辺浩三			

行事名 シネマな夜VOL.122「懺悔」				
日・時	4月27日(火) 13:30～計3回			旧作とは言え、日本未公開であった問題作を高知でも上映できた意義は大きい。しかし、マイナーな国グルジアの映画であり、有名な人も出ていない政治色のある映画ということで、参加者が少なかった。最近では、自主上映会に足を運ぶ人の数が落ちていていると感じられるが、結局は作品のコンテンツの問題になるので、これからもぜひスクリーンで観てみたい魅力ある作品の上映に努めたい。
会場	県立美術館ホール	入場者	75人	
主催	シネマ・サンライズ / 吉川修一			

行事名 こうちコミュニティシネマ第51回上映会「ずっとあなたを愛してる」				
日・時	5月10日(月) 13:00～計4回			主人公には、決して消えることのない喪失の悲しみと罪があると同時に、再生への希望も残されている事を描いた本作の上映会は、鑑賞した多くの方々から多くの賛辞をいただきました。重いテーマでありながらも、最後はさわやかな感動と希望を観客にもたらしてくれる素晴らしい作品でした。今後もこのような人の心をとらえる、芸術性の高い作品を提供していきたいと思っています。
会場	県立美術館ホール	入場者	207人	
主催	NPOこうちコミュニティシネマ / 有光文平			

行事名 「大江山酒天童子」上映会				
日・時	6月13日(日) 10:00～計5回			「大江山酒天童子」は、昭和35年の大映特撮妖怪時代劇です。長谷川一夫、市川雷蔵、勝新太郎、山本富士子などのオールスターも出て、正直かなり入るかなと思ったのですがダメでした。サッカーも始まり、古い時代劇を見に来てくれる雰囲気はなかったです。
会場	龍馬の生まれたまち記念館	入場者	44人	
主催	小夏の映画会 / 田辺浩三			

行事名 高知・民族文化映像研究所の映画をみる会第23期75回上映会 「日本人は何を養い、何を世界に発信できるのか-世界遺産とグリーン・キー」				
日・時	6月27日(日) 13:00～17:00・28日(月) 9:00～13:00			今回の映画は、合掌造りの民家の解体移築の全工程を追った貴重な記録です。屋根を葺くコガヤは焼畑によって用意され、周囲にある草木他自然の中から調達し、地域の大勢の人の「結」に支えられ、伝えられてきた文化遺産であることを教えられました。「人は、人のなかで、自然の中で、どのように生きてきたか。」民映研の映画はわたしたちに問い続けさせてくれます。
会場	27日/自由民権記念館民権ホール 28日/平和資料館草の家	入場者	55人	
主催	高知・民族文化映像研究所の映画をみる会 / 松吉恵子			

行事名 MOVIE JUNKY 第203回上映会「アンナと過ごした4日間」				
日・時	7月15日(木) 13:30～計4回			作品評価について、アンケートに「何ともいいがたい作品でした」という意見がありましたが、映画マニアの人々には、かなり好評でした。カメラワーク・音・カットつなぎの設計が実に巧みに構築されており、ほぼ全編にみながる緊張感が、テーマを象徴するラストシーンで哀しみを伴いつつも解放され、奇妙にさわやかな印象を残す作品でした。
会場	県立美術館ホール	入場者	95人	
主催	MOVIE JUNKY / 西川泉			

演劇部門(1)

行事名 喜多流回雪臺高知粟谷会能楽大会				
日・時	5月9日(日) 12:00～16:30			出演者(会員)も高齢化のため段々減少し、その上能楽はとりつきが難解のせい、若い方々の入会が少なく会のなりゆきが心配されました。しかし当日は、好天に恵まれたせいか多くの御来場をいただきプロのお囃子方や地謡の先生方の熱っぽい演技に支えられ、能楽師の先生も仕舞を舞って下さり、会員も精一杯頑張り、能楽会らしい雰囲気のある会として成果を上げる事が出来ました。
会場	県立美術館能楽堂	入場者	200人	
主催	喜多流回雪臺高知粟谷会 / 岡部徳治			

行事名 高知市民劇場第284回例会劇団青年座公演「赤シャツ」				
日・時	5月13日(木)18:30～ 14日(金)12:30～ 15日(土)13:30～			例会前に作家のマキノゾミさんを迎えて「赤シャツ」を書いた経緯や思いを聞くことができ、期待を持って臨めました。内容は、夏目漱石の小説「坊ちゃん」に出てくる「赤シャツ」が主人公で、「稀代の好物といわれている赤シャツは、坊ちゃんに誤解されているのでは」という設定で創られ、物事を多面的に見ることの大切さを描いています。今回は中高生を無料招待し多くの学生が観劇しました。
会場	かるぽーと大ホール	入場者	2,433人	
主催	高知市民劇場 / 塩田正興			

行事名 山北美砂子ひとり語り「ちょっと怖い話」				
日・時	5月20日(木)・22日(土)・23日(日) 14:00～14:50・17:00～17:50			何分初めてのひとり芝居で、幕が上がるまでは内心ドキドキものだったのですが、お客さんの感想は概ね好評でした。かなり狭い空間(キャパ20名)ですが、ひとり芝居を演じるには心地よく、店の雰囲気も好評でした。しかしその狭さゆえ観客が入り切れず、何人かに入場をお断りした回があったことは悔やまれます。これから年1回のペースで、オリジナル作品を上演していきたい。
会場	エスニック居酒屋トンプー(東風)	入場者	83人	
主催	劇団とりあえず / 山北美砂子			

行事名 高知市こども劇場高学年例会「MYMYのコントライブショー」				
日・時	5月28日(金) 19:00～20:10			パワフルな風刺コントで世間に笑いの風をまきおこす2人のパフォーマー。パントマイムやハンドベル芸などテクニックを要するものから、替え歌やラジオ体操のパロディー、高知の地元ネタもしっかりコントになっていて、笑いの内容も豊富でした。地球温暖化や民主党政権、憲法9条といった時事ネタには思わず笑ってしまう出来ばえに若い人たち(子どもたち)の関心も高まったことでしょう。
会場	かるぽーと小ホール	入場者	142人	
主催	特定非営利活動法人高知市こども劇場 / 武市真寿美			

行事名 第22回高知能楽会大会				
日・時	6月6日(日) 9:30～16:30			観世流2会派 喜多流2会派 お囃子友の会の5会派、プロの能楽師に指導を受け研鑽をつんできた成果を年一回発表、他流の芸を学ぶ事も刺激となり、また交友も生れる。一同日頃の成果を発表できたと思う。見所も賑わって熱心に応援いただき盛会であった。しかし能楽の様に長く続けなければならない芸能は、現代の若い人はとりつきにくい、現会員は高齢化し先が思いやられる。
会場	県立美術館能楽堂	入場者	200人	
主催	高知能楽会 / 岡部徳治			

行事名 ラボ・パーティ高知地区交流発表会				
日・時	6月20日(日) 13:00～16:30			今回は多くの幼稚園等にチラシを配りアピールしたが会場の場所やアクセス方法、駐車場等の関係もあり、あまり人呼び込むことが出来なかった。場所選びも今後の課題だ。発表会は、毎年の開催で子ども達も慣れスムーズに進み、それぞれの成長がみられた。外部からの子どもと、ラボ所属の子どもとの交流時間を増やしていけば、もっと楽しい会になったのではと考える。
会場	弥右衛門ふれあいセンター	入場者	80人	
主催	高知ラボ・パーティ / 宮地香奈			

演劇部門(2)

行事名 劇団ゆまにて第79回公演「楽屋」			
日・時	6月23日(水)・24日(木) 19:00～20:40		今回劇団外から2名客演として出演して頂きました。劇団外の方が参加ということで、色々な点で勉強になりました。考え方や動き、演技等いつもとは違った視点での見方があり、考えさせられました。今後も多種多様な物の見方、捉え方ができるようにしていきたい。内容的には少々分かりにくいお芝居だったと思いますが、お客様の中には最後まで何となく分かったというような感じでした。
会場	県立美術館ホール	入場者 193人	
主催	劇団ゆまにて / 吉本智賀子		

行事名 高知市民劇場第285回例会劇団M.O.P.公演「さらば八月のうた」			
日・時	7月22日(木)18:30～ 23日(金)12:30～ 24日(土)13:30～		例会前に、作・演出のマキノゾミさんと、劇団の看板女優で主演でもあるキムラ緑子さんを招き、作品にかける思い等を聞き期待を膨らませて例会を迎えました。劇団のファイナル(解散)公演は、私達の期待をはるかに凌ぐ感動の舞台で、その舞台には、私達へのプレゼントと受け取れるような高知を題材にした内容と方言が盛り込まれていて、その場面では特に客席が盛り上がりました。
会場	かるぽーと大ホール	入場者 2,433人	
主催	高知市民劇場 / 塩田正興		

行事名 第12回高知県能楽鑑賞会能			
日・時	7月25日(日) 11:30～16:00		計画通りに、能2番、狂言1番、仕舞3番をほぼ満席の状態で、人間国宝2人を含む豪華な出演で開催することができました。見所のマナーも良く、静寂の中に幽玄の世界を繰り広げました。観客の皆さんも満足し堪能した表情でお帰りいただいたものと自負しております。本鑑賞会の目的は「地域文化の発展・向上に寄与すること」となっており、少しは貢献できたでなかろうかと考えます。
会場	県立美術館能楽堂	入場者 420人	
主催	高知県能楽鑑賞会 / 岡部徳治		

音楽部門(1)

行事名 青峰流至誠吟詠会春季大会				
日・時	4月18日(日) 13:30～16:30			<p>本年は会場を日本間に変えました。80畳の会場に椅子を並べ入りきらない場合に備えました。春の大会は競吟ではなく発表会で、会員はのびのびと吟じる事が出来ました。番組の最後には例年通り歌謡吟詠、わらべ吟詠を発表し高齢者の多い会ですが、「月の砂漠」では皆のハミングが聞こえ、大トリの「長良川艶歌」では「アンコール」の声も聞こえ、最高の盛り上がりで終了しました。</p>
会場	高知プリンスホテル	入場者	85人	
主催	青峰流至誠吟詠会 / 佐藤絹代			

行事名 第33回おしどり会民謡発表会				
日・時	4月25日(日) 13:00～16:00			<p>県民文化ホールの抽選に破れ一年休むつもりでしたが、会員からの反対で本年度初めてホテルを会場としました。舞台が狭く、幕も無く、音響設備、照明設備は持ち込みとなりましたが、会員は満足していました。おしどり会自慢の竹音調は生竹の持ち込みが出来ず断念したり、三味線合奏は楽器がぶつかりあう等のハプニングはありましたが、それなりに満足し無事終了しました。</p>
会場	高知プリンスホテル	入場者	100人	
主催	高知民謡おしどり会 / 高橋輝雄			

行事名 一絃琴わくら和遊紅会演奏会				
日・時	4月25日(日) 13:30～15:30			<p>龍馬詠草21首の内5首を入れた龍馬挽歌を作曲して頂きこれを本手・替手・弓琴・笛・低音琴・笏と一絃琴の演奏で画期的な取り組みをしました。また吟詠と組み合わせたり、詩を朗読しながら一絃琴を弾く等、新しい試みを多く取り入れました。お客様には大変喜んで頂き、それなりの成果はあったと確信しています。今後もこの古楽器の普及に努めていきます。</p>
会場	かるぽーと9階和室	入場者	42人	
主催	一絃琴わくら和遊紅会 / 松本遊紅			

行事名 桂民謡会民謡と舞踊の祭典				
日・時	4月29日(木) 11:30～16:10			<p>県民文化ホールの改修工事直近の舞台という意味合いで、本年度はいつもと違った感じがした。また、欠席者が意外と少なく高齢者ばかりの民謡集団なのに、音程も狂わず時間通りの進行で16時10分に幕を閉める事ができました。今年も「生命の基金」に寄付ができて最高の1日でした。現在、各教室で総計80余名の生徒が勉強しています。</p>
会場	グリーンホール	入場者	550人	
主催	高知桂民謡会 / 竹内懸一			

行事名 三曲演奏会				
日・時	4月29日(木) 13:30～15:45			<p>今年はゲストに絃方奏者帯名久仁子・松村エリナ、尺八奏者中村仁樹師をお招きして開催。いずれも中堅・若手演奏家として今中央で活躍されており演奏会に大きな華を添えていただきました。演奏曲は、ゲスト曲3曲、協会提曲2曲、協会会員提曲5曲の計10曲で、三絃のみの古典曲、大正期以降の新曲・現代曲と変化に富んだ構成となり充分お楽しみ頂くことができたと考えています。</p>
会場	県立美術館ホール	入場者	349人	
主催	高知県三曲協会 / 澤田萬山			

行事名 土佐中・高等学校吹奏楽部第45回スプリングコンサート				
日・時	4月29日(木) 14:00～16:00			<p>今回のコンサートは、アンケートや後日お会いした方から良い評価を頂きました。来年以降もより良いコンサートを目指して行きます。ただ、入場者が900人を下まわっているため、もう少し増やせるよう努力します。</p>
会場	かるぽーと大ホール	入場者	850人	
主催	土佐中・高等学校吹奏楽部 / 川崎仁哉			

音楽部門(2)

行事名 高知県ピアノ指導者協会29年度例会コンサート 「八田智大ピアノコンサート～ショパンの夕べ～生誕200年によせて」			
日・時	5月14日(金) 18:00～21:00		パリの若手ピアニスト八田智大氏を招きショパン生誕200年によせて、プログラム全てをショパンの曲にしました。当協会の未就学児を含む会員を招待としながら一般の来場者もあり満席でした。演奏会終了後のサイン会が予想以上に大盛況だった事をもて、大好評だった事が実感できたコンサートでした。来年度も観客動員に努め、より楽しんでいただけるよう努力していきたい。
会場	県立美術館ホール	入場者 400人	
主催	高知県ピアノ指導者協会 / 住友弘一		

行事名 高知市こども劇場低学年例会札幌NKミュージック「ねのくのえ」			
日・時	5月14日(金) 18:30～19:30 15日(土) 15:00～16:00・18:30～19:30		楽器という筆を使って音という絵の具でステージに描かれていく絵をイメージしながら、音色と楽器を楽しんだコンサート。学校でおなじみの打楽器から、中々お目にかかれない珍しい物も登場。さらに、彩りを加えたストリートオルガン(手回しオルガン)に子供達は興味津々。高い演奏技術に目を見張り、息をのむ場面も味わえ、ほのぼのしたステージ運びにやさしい気持ちになりました。
会場	かるぽーと小ホール	入場者 383人	
主催	特定非営利活動法人高知市こども劇場 / 武市真寿美		

行事名 高知県吟剣詩舞道総連盟春季競吟大会			
日・時	5月16日(日) 9:00～17:00		昨年は春野町ピアステージで開催し、本年は、かるぽーとで開催。設備等に問題がないことから出場者には大変好評でしたが、駐車場の料金が高いことが問題です。本大会は、県下22団体・約1500名が予選会を経て開催。しかしながら、年々出場者の高齢化が進み、伝統文化の普及発展並びに継承の観点から、今後はいかに若年層の出場者を増加させるかが課題です。
会場	かるぽーと大ホール	入場者 520人	
主催	高知県吟剣詩舞道総連盟 / 柳瀬岳領		

行事名 正曲一絃琴白鷺会演奏会			
日・時	5月16日(日) 13:00～15:00		今回は香川県の一絃琴一逢会のグループの方にも参加して頂き、一絃琴の形の違いや奏法の違い、また音色の違い等も楽しんで頂きました。白鷺会の会員にとりましても大変興味深く、いい演奏会が出来たと思います。会場のお客様にもとても好評でした。これからも白鷺会の伝統奏法を守り、大切に保存して参りたいと改めて強く思いました。
会場	かるぽーと小ホール	入場者 120人	
主催	正曲一絃琴白鷺会 / 田中美智子		

行事名 第25回当道音楽会箏曲演奏会			
日・時	5月23日(日) 13:00～16:00		日頃の練習の成果を発表でき、邦楽の発展にお役にたてればと思い、心をこめて一生懸命演奏しました。今後も会員一同協力して、和を持ち、邦楽発展につながればと思っています。雨にもかかわらず、おいで頂いた方々には感謝しています。
会場	県立美術館ホール	入場者 330人	
主催	(社)当道音楽会高知支部 / 菊丞雪紀		

行事名 やいろ吹奏楽団第15回定期演奏会			
日・時	5月29日(土) 18:00～21:00		今年も例年通り3部構成でお届けしました。15回という節目を迎え、ゲストにサクソフォン四重奏団「Quatuor B」をお迎えし、1部は楽団単体でのクラシックステージを、2部は吹奏楽とサクソフォン四重奏の協奏曲、3部では吹奏楽をバックに4名の各ソロを演奏しました。2部・3部では、普段聴く機会のないサクソ四重奏と吹奏楽のコラボレーションを存分に楽しんでいただきました。
会場	かるぽーと大ホール	入場者 770人	
主催	やいろ吹奏楽団 / 野町考司		

音楽部門(3)

行事名 秀鳳流日本吟詠会春季大会				
日・時	5月30日(日) 10:00～17:00			本大会は吟詠練成会と優勝旗争奪大会で、競吟の部は、無伝の部、初伝、中伝、奥伝、皆伝、無鑑査高段者と別れ、優勝旗の争奪を行った。また、今回の特別企画として「現代吟詠と舞の祭典」と題し、招待名流吟詠剣詩舞、第二部でコロンビア吟詠歌謡の世界を行った。会場一杯の観衆は名流の先生方の吟詠に浸って酔いしれているようで、充実した一日を過ごした。
会場	高知プリンスホテル	入場者	120人	
主催	秀鳳流日本吟詠会 / 野中秀鳳			

行事名 第37回高知本條会ふるさと民謡民舞三味線まつり				
日・時	6月13日(日) 12:00～16:00			前回に続く2回目の連合体形式の民謡会で、今回の特徴は、地域住民のお客が多く見られた事、会員の頑張り、本條会以外の民謡団体の積極的な協力です。特に、尺八は大豊町から、歌はいの町、鳴り物は「びこう会」と、仲間に助けられ、地域の住民の温かい応援を頂き、最高の一日でした。来年に向かって頑張ります。
会場	高知プリンスホテル	入場者	143人	
主催	高知本條民謡連合会 / 本條謡朋			

行事名 第17回大正琴アンサンブルあじさい会発表会				
日・時	6月15日(火) 13:30～16:00			梅雨時の平日にもかかわらず大勢のお客さんに来ていただき、会場に飾られた“あじさい”が咲き誇っていました。本年も高知びおら・みづき・野ばら・赤岡教室・室戸教室、またピッツパークよりパイルシュタイン茂子さん、唄の久保田涼子さん・夕張伸子さん・進太郎さん、サクソホーンの久保雅夫さん、踊りの藤間美津子・紫公両師匠と舞踊教室の出演を頂き成功裡に終わりました。
会場	県立美術館ホール	入場者	380人	
主催	大正琴あじさい会 / 川島節子			

行事名 邦楽器と洋楽器によるアンサンブルグループ「し～ずん」コンサート				
日・時	6月18日(金) 19:00～21:00			今年は、フルーティスト山下兼司氏(東京)と十七絃演奏家の宮越圭子氏(東京)のプロお二人をお迎えしての豪華版となった。アンコール曲「浜辺の歌」はコンサート恒例で、お客様と合唱、会場が歌声で盛り上がった。「二時間がアツと言う間でした。良かったです」とお客様の言葉にいつも感謝しつつ、「来年もまたいらしてください。ありがとうございました」とお見送りました。
会場	県立美術館ホール	入場者	417人	
主催	グループ「し～ずん」 / 門田綾子			

行事名 第51回高知県合唱祭				
日・時	6月20日(日) 10:00～16:30			出演団体数が多かったこともあり、入場者数が近年で最も多い演奏会となりました。中学校などで久々に出演して下さる団体もあり、これを次につなげて行けたらと考えています。また、今年度は合唱連盟の四国支部・高知県支部ともに50周年を迎える節目の年であり、プログラムの途中で長く出演していただいている指揮者(指導者)の表彰を行いました。
会場	かるぼーと大ホール	入場者	880人	
主催	高知県合唱連盟 / 西本佳奈子			

行事名 土佐一絃琴演奏会				
日・時	6月20日(日) 13:30～15:30			今回は新曲「龍馬挽歌(合奏)」中心に古曲等も含めプログラムを組んだ。演奏により坂本龍馬ゆかりの会場で龍馬の短歌六首、並びに、一絃について少しでも知って頂くことができたのではなかろうか。また、聴いていただくと同時に、共にうたう(小学唱歌)ことにより参加して頂くことができた。今後古典と共に、郷土の詩人の作品(新曲)にも取り組み、なお一層の精進にはげみたい。
会場	龍馬の生まれたまち記念館	入場者	50人	
主催	土佐一絃琴同好会 / 高木美智			

音楽部門(4)

行事名 高知交響楽団・中村交響楽団合同演奏会(高知公演)			
日・時	6月27日(日) 14:00～16:00		本番前4回の合同練習の成果もあり、作曲家それぞれの意図を汲む演奏を表現できた。特に1曲目、ショスタコーヴィチの祝典序曲では3階バルコニーからのバンド隊による演奏も加わり、金管奏者の華やかな音色でホール全体を包み込み、好評であった。指揮者の石毛保彦氏は、楽曲に対し斬新な解釈のもと97名の楽員を同方向に導き、演奏を完成させ、好評を博した。
会場	かるぽーと大ホール	入場者 742人	
主催	高知交響楽団 / 山下佳邦		

行事名 混声合唱団Pange第7回定期演奏会			
日・時	7月3日(土) 18:30～20:30		悪天候であったが、300人近い観客に恵まれ無事終了。今年は執行部の体制が大幅に変わり、準備や当日運営の段取りで課題が残りましたが、その分全員に自覚と自立を促す結果に繋がりました。演奏がぎりぎりまで仕上がらずかなり苦労しましたが、その分一体となった熱い思いをお客様に伝えることができました。来年に向けて今から色々なアイデアを出し合い精進していきます。
会場	県立美術館ホール	入場者 297人	
主催	混声合唱団Pange / 坂本雅代		

行事名 「Tutti」第13回&「音のみち」第9回ジョイントコンサート			
日・時	7月3日(土) 18:30～21:00		昨年よりも一層レベルの高い演奏ができ、多くの方々に楽しんでいただけたと思う。来年もさらにより音楽を多くの方々に楽しんでいただけるように努力していきたい。
会場	自由民権記念館アトリウム	入場者 70人	
主催	Tutti, 音のみち / 川添建太郎		

行事名 第41回高知マンドリン土曜日会定期演奏会			
日・時	7月17日(土) 18:00～21:00		7月開催ということで海や川をテーマにした曲を選曲。海のトリトンをはじめ、四万十川をテーマにしたオペラ「四万十」をマンドリンオーケストラ用にアレンジした組曲や、龍馬伝放送中ということで龍馬伝テーマ曲等、オリジナル性に富んだ曲の演奏ができたと思います。また今回のオペラ「四万十」で窪川の方々との交流が深まり、これからもこの交流が続いていくよう頑張っていきたい。
会場	かるぽーと大ホール	入場者 412人	
主催	高知マンドリン土曜日会 / 前田理絵		

舞踊部門(1)

行事名 水心流弘道館剣詩舞道大会				
日・時	4月18日(日) 13:00～16:00			昨年、道場名と代表者の交代があり、名称を水心弘道流から元の水心流弘道館に変更しました。会場も自由民権記念館から文化ホールへ、舞台が広く使い勝手は良いが駐車場がなく欠席が目立った。高齢化が進む中で会員さんは良く頑張ってくれた。プログラムは三部構成で第一部・第二部が会員演舞、第三部を来賓演舞とした。今後は、剣詩舞道は一つを目指して頑張ります。
会場	グリーンホール	入場者	150人	
主催	水心流弘道館 / 林霊山			

行事名 土佐ふじ和流舞踊公演				
日・時	5月1日(土) 11:30～16:00			今回より、名取制を設けて3年以上お稽古を重ねた人たちに「ふじ和」の姓を名乗るようにしてみました。また、東京浅草より胡蝶師を招き、花を添えて頂きました。洗練された華麗な舞に、会場から盛んな拍手と、見とれて溜め息さえ聞こえてきました。私たちは土佐にこだわり、龍馬の年に相応しい曲を選んで番組を作ってみました。客席は立ち見が出るほどの満席で成功裡に終わりました。
会場	県立美術館ホール	入場者	550人	
主催	土佐ふじ和流 / 竹村美和			

行事名 浜田悦子バレエ研究所第38回発表会				
日・時	5月9日(日) 13:00～15:45			今年は白のロマンチックバレエに始まり、フィナーレは華やかなスペイン風の踊り「ドン・キホーテ」で、静と動の難しさがありましたが、観客の皆様には楽しんで頂けたようです。二部のコンサートでは、ゴムを装置に使ったコンテンポラリー「檻」を上演しました。初の試みで、リハーサルでは苦労しましたが、とても評判がよく、出演者・裏方一同嬉しく思っています。
会場	かるぽーと大ホール	入場者	800人	
主催	浜田悦子バレエ研究所 / 浜田悦子			

行事名 第38回内山時江ダンスシアター「わたしの標」				
日・時	5月15日(土) 18:00～19:00 16日(日) 15:00～16:00			踊りの中で歌があり、対話があり、また静と動の動きが非常におもしろく、次の動きを大いに期待させるものだったと評価を頂きました。
会場	内山時江モダンバレエスタジオ	入場者	116人	
主催	内山時江モダンバレエ研究所 / 内山時江			

行事名 第55回白鷺おどり				
日・時	5月23日(日) 11:00～16:30			本年の白鷺おどりは第55回を記念して人間国宝の花柳寿南海師を招聘、その珠玉の舞台を鑑賞、一般観客も協会会員も感動に包まれた得がたい舞踊会となった。師は舞踊コンクールでは審査員としての確かな指摘をされ、舞台では高齢にも関わらず常に勉強という姿勢を示され、頭の下がる思いで、稔りの多いものとなった。今回の白鷺会賞は候補は上がったが該当なしとなった。
会場	かるぽーと大ホール	入場者	1,000人	
主催	高知県日本舞踊協会 / 花柳昌延			

行事名 第6回かなるスタジオカーニバル				
日・時	5月29日(土) 18:00～19:45			今回は昨年に比べて参加者は減っていたが、特別参加(神戸・大阪のコンテンポラリーダンス)もあり楽しい舞台ができました。子供達の一生懸命さが感じられ、時には手拍子や声援が客席から聞こえ、アットホームの内に終了することが出来ました。また子供達には年に1度の舞台がとても良い経験になっていると感じました。
会場	自由民権記念館アトリウム	入場者	168人	
主催	かなるスタジオ / 瀬川佳津江			

舞踊部門(2)

行事名	モダンダンス伊野友美子舞踊研究所30周年記念公演「幻日」		
日・時	6月26日(土) 18:00～20:30		30周年の公演に、遠い過去の作品を。体が蘇がえり、時間と共に懐かしく、又、現在の今の自分から発する物との差は、あまり感じず、目指す表現は、同じと感じる。又、生の太鼓を入れたり、他の教室の方、現在離れている方のダンスの参加は、嬉しい日となりました。
会場	県立美術館ホール	入場者 320人	
主催	モダンダンス伊野友美子舞踊研究所 / 伊野友美子		

行事名	高知社交ダンス愛好会演技発表会		
日・時	6月27日(日) 13:00～16:00		今年は近年にない盛り上がりで参加者も喜んでいました。特に小学生も参加し、おじいちゃん・おばあちゃんと踊る姿は本会ならではの楽しく明るい内容でした。参加が初めての方も多くいましたが皆さん本当に喜び、来年に向けての目標もでき期待が膨らんでいます。高齢化によるダンス人口の減少問題もありますが、また来年に向けて今日からレッスンに励んで参ります。
会場	旭文化センター	入場者 125人	
主催	高知社交ダンス愛好会 / 尾崎比佐子		

行事名	第55回立脇バレエ記念発表会・研究生発表会		
日・時	7月3日(土)18:00～21:00 4日(日)13:30～15:00・18:00～19:30		今回は55周年記念発表会として「眠れる森の美女」全幕を上演致しました。現在、国内外で活躍中のダンサーを多数ゲストに迎え、お客様にも大変満足して頂ける舞台となりました。また、研究生にとりましても有意義で価値ある時間を過ごす事が出来、これからのレッスンにも反映されると信じております。今後も地域の皆様に愛されるよう努力して参ります。
会場	かるぽーと大ホール	入場者 2,800人	
主催	立脇千賀子バレエ研究所 / 立脇千賀子		

行事名	藤間流かおる会「夏のおどり」		
日・時	7月30日(金)11:00～16:00		県立美術館ホールで初めての「かおる会夏のおどり」、しかも平日でお客様の入場が気になりましたが、門下生の頑張りの結果、300名以上の入場があり、また途中休憩を入れましたが、帰るお客さんもおらず無事終了しました。今回は、古典舞踊でなく歌謡日舞にしたのが結果的には良かったと思います。出演者も客席も楽しく、手拍子等も入り本当に楽しい「おどりの会」でした。
会場	県立美術館ホール	入場者 330人	
主催	藤間流かおる会 / 藤間香緒瑠		

展示部門

行事名 第8回映光会書作展～土佐ゆかりの詞～			
日・時	4月9日(金)～12日(月) 10:00～18:00(最終日は16時)		万葉集、源氏物語、百人一首、中近世、明治、大正と時代を進めてきましたので、今回は少し方向を変えて、坂本龍馬ら土佐にゆかりある作家の言葉や和歌、漢詩等を題材に選びました。ちょうど龍馬伝が放映されていますのでタイミングも良く、来場の方々には大変喜んでいただきました。次回も毛筆、硬筆(ペン、ボールペン、竹、ボール紙等)をバランス良く発表したいと思っています。
会場	高新画廊	入場者 520人	
主催	書道研究映光会 / 三浦映泉		

行事名 春のいけばな展			
日・時	4月23日(金)～25日(日) 10:00～18:00(最終日は16時)		加盟22流派の会員協力で、大作17、普通作162に加えて、子供席に18作品を展示して、出瓶者それぞれの趣が来館者の目を楽しませていた。ただ会員の高齢化の影響で、出瓶者が減少傾向にある事と、昨今のエコブームが会員の作品に影を落としたのかなと思われる点がある。また大作に豪華さが無くなり、小振りになった感があった。しかし全体的に爽やかな季節感は出ていたと思
会場	かるぽーと7階第1・2展示室	入場者 3,312人	
主催	(社)高知県華道協和会 / 岩井寿夫		

行事名 ボトルフラワー作品展&体験会			
日・時	4月25日(日)～5月9日(日) 9:00～17:00(最終日は15時) 5月2日(日)10:00～体験会		お客様から「初めて見ました。本当に本物のお花ですか？まるで咲いているようですね」とか、ボトルを上からつついて「蓋が無いように見えますね。簡単に作れますか？」等たくさん嬉しいお言葉を頂きました。多くの人にボトル作品というものをご理解いただいたと思います。体験会は、皆様出来上がった作品と一緒に写真を撮る等 和気あいあいと終えることができました。
会場	牧野富太郎記念館五台山ロビー	入場者 500人	
主催	ボトルアレンジメントフラワーAssociation / 竹内志津子		

行事名 春のばら展2010			
日・時	5月8日(土)・9日(日) 10:00～18:00(最終日は16時)		天候不順で出品花が集まるか心配したが、会員の努力もあり、昨年同様約560本の出品となり盛会だった。今年から開催期間を2日間にしたが、よい状態で生花を觀賞してもらうため、また会員の体力面からも短縮して良かった。出品花についてはハイブリットティーのみならず、つるばらやイングリッシュローズと多岐にわたり、評判も上々。また取材報道が集客に大きく繋がった。
会場	かるぽーと7階第4展示室	入場者 1,469人	
主催	高知ばら会 / 森岡清		

行事名 第34回さつき花季展覧会			
日・時	5月27日(木)～30日(日) 9:00～17:00(最終日は16時)		異常気象のため、さつきの開花の遅れを心配しましたが展覧会期を1週間、後にずらしたのが功を奏し例年通り開催できました。牧野植物園新温室、龍馬ブームの相乗効果で入園者が例年より格段に増し、盆栽の素晴らしさ、さつきの花の艶やかさに感動の様子でした。年々会員の技術の進歩も見られ、出展作品(63鉢)の樹格の向上を5名の審査員の方々も認めて下さいました。
会場	県立牧野植物園	入場者 4,000人	
主催	高知県さつき愛好会 / 斎藤俊和		

文芸部門

行事名 第40回総合文芸展			
日・時	5月11日(火)～16日(日) 10:00～17:00(最終日は16:30)		
会場	かるぽーと第4展示室	入場者	470人
主催	高知ペンクラブ / 高橋正		

会員の作品を中心に、一般の人々も参加して、短歌・俳句・詩・川柳・紙芝居の絵・まんがの作品50点余りを趣向をこらして展示。陳列ケースには、会員の刊行した小説やエッセイなどの著書・同人誌・高知ペンクラブ刊行の「高知文芸年鑑」や「会報」の他、県出版文化賞・同特別賞・寺田寅彦記念賞・同特別賞・高知出版学術賞の各受賞図書が展示され、鑑賞者の目を引いていた。

行事名 第39回高知県俳句大会			
日・時	5月30日(日) 9:30～16:00		
会場	高新文化ホール	入場者	119人
主催	高知県俳句連盟 / 橋本幸明		

例年どおり和やかな中にも緊張感のある大会であった。今年は味元昭次先生の「蝶」が当番であったためか、若者・新人の参加が多く、今後の連盟の発展が期待できる感が強かった。新入会員当日分18名。

行事名 平成22年度帆傘川柳大会			
日・時	6月20日(日) 10:00～17:30		
会場	文教会館5階ホール	入場者	100人
主催	帆傘川柳社 / 小笠原望		

県下全域はもとより、徳島県・香川県からの参加(特に徳島からは17名)があり、盛会のうちに開催できた。県外選者4名、県内4名と割りふり、質の高い川柳大会になって幅広い作品が入賞した。大きな問題はなく、なごやかな会が開催でき、主催者としては満足している。ただ、会場が古くなり空調が調整できないことが問題点である。

行事名 第9回高知県漢詩大会			
日・時	6月27日(日) 13:00～16:00		
会場	高知商工会館	入場者	120人
主催	高知県漢詩連盟 / 野中秀鳳		

第9回となる高知県漢詩大会には、愛媛より伊藤竹外師をお招きし「詩興を探る」と題して開催。例年通り「土佐を詠む」「土佐騒人の夢」を詠んだ。また、本年度の大河ドラマにちなんで龍馬・慎太郎・半平太・虎太郎など明治維新に関わった土佐の偉人達を題材に、連盟加盟の同人の作った漢詩「土佐維新の群像」を、高知県吟剣詩舞道総連盟の仲間が吟じ舞って、無事終了しました。

その他部門

行事名 香を楽しむ			
日・時	4月25日(日) 10:00～12:00・13:00～15:00		清々しい晴天のもと、みどり美しい庭、寺田邸で草木香を行いました。足が悪くて正座は困難な方に座椅子を用意しました。一度体験してみたいと、年配の方や若い方が来席して下さり、体験できて良かったと話して下さいました。これからも一人でも多くの方に伝統文化である香道を体験して頂けるよう会員一同努力していきたいと思いました。
会場	寺田寅彦記念館	入場者 60人	
主催	香道古心流土佐伽羅の会 / 藤本淑峰		

行事名 第36回高知市教育長杯かるた大会			
日・時	6月27日(日) 9:00～16:00		昭和50年より始まった高知市教育長杯かるた大会を今年も続けて開催することが出来ました。しかし、参加者数、早取りのスピードも例年並というところで、今後は高知県内の学校にあるかるた同好会の探求・指導に力を注ぎ、参加人口の増大、早取りスピードのレベルアップをしていきたい。それと同時に高知かるた会の練習会のPR等も課題として取り組んでいきたいと思います。
会場	南部健康福祉センター	入場者 31人	
主催	高知かるた会 / 吉本健二		

行事名 第14回三里友の会文化祭			
日・時	5月23日～7月4日 全6行事		当初の予定日から変更があり、しかも広報に掲載された後での変更だったため少し混乱がありました。今年もほぼ満足な集客でした。一方、友の会の高齢化による会員の減少、会費収入の減少、会場使用料の値上げなどの問題が残りました。
会場	三里文化会館	入場者 746人	
主催	三里文化推進友の会 / 坂本美代子		

行事名 参加興行映画			
日・時	4月9日～7月16日 全4作品		文化祭に相応しい作品として、日本映画の、「パーマネット野ばら」(5/15～)、「RAILWAYS」(5/29～)、「FLOWERS」(6/12～)、外国映画からは、「シャッターアイランド」(4/9～)の計4本を参加作品とした。
会場	TOHOシネマズ高知	入場者 20,392人	
主催	高知県興行生活衛生同業組合 / 友永雄一		